

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	脳動脈瘤塞栓術におけるバルーン付きガイディングカテーテル使用と術中破裂後の転帰との関連(No.86)
研究申請者または責任者 (所属)	齋藤 浩史(脳神経外科)
研究等の概要	1.研究の目的と方法 脳動脈瘤塞栓術中における脳動脈瘤破裂時のバルーン付きガイディングカテーテルの使用の有用性を調査する。慈恵大学の関連病院および全国の脳血管内治療を行う共同研究機関より、脳動脈瘤塞栓術中の術中破裂数と手術情報および破裂時の対応および転帰に関する情報収集を行い、バルーン付きガイディングカテーテルの使用の有用性を検証する。 2.研究期間 承認日～2027年12月31日（予定） 3.対象となる方等 頭蓋内脳動脈瘤の患者さんで、2003年1月1日～2024年12月31日の間に脳動脈瘤塞栓術の治療を受けた18歳以上の方。 4.研究に利用する試料・情報について (1)試料の種類：試料は使用しない。 (2)試料の取得の方法：試料は使用しないため、該当しない。 (3)情報の種類：診断名、性別、年齢、身体所見、治療時の手術機材情報、術前後の患者さんの状態、転帰について (4)情報の取得の方法：診療録から診療時のデータを収集する。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口	倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局 電話：048-665-6111(代表)
---------	---